

- ・内閣府(防災)では、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」、「国・地方のネットワークを形成できる人」を 「防災スペシャリスト」に求める人材像と定め、国や地方公共団体等の職員を対象とした「防災スペシャリスト 養成研修」に取り組んでいます。
- ・本研修では、災害リスクや防災に関する法制度などの基礎分野から、災害対策本部運営などの幹部職員に 必要なマネジメント分野に至るまで、防災スペシャリストに必要とされる知識・技能・態度を、座学や演習を通じ て体系的に学ぶことができます。
 - 今年度 第1期は、下記の2つの方法で開催いたします。

オンデマンド形式 >> 講義動画の聴講や指示された個人作業(ワーク)を行います。

集合形式 (対面) >> 有明の丘基幹的広域防災拠点施設にて演習を実施します。

(受講するための環境は、受講者ご自身でご準備ください。)

- ※ インターネットに接続されたPCやタブレットが必要となります
- ※ 講義動画は、学習管理システム(LMS)を通じての受講となります。
- ※ 受講環境が準備できない場合は、ノートPCを無償で貸与することができます。(送料は受講者負担)
- 詳細は「募集要項」をご覧ください。
- 研修スケジュール (全10コース)

およそ4週間の間で、演習開始までの自由な時間に講義動画を聴講していただきます。

各コースの演習日に、有明の丘での集合研修にご参加ください。

演習の参加方法・時間は別途、受講者に通知します。



「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修の各コースの概要

<職位別の凡例 >

上級管理向け

実務担当向け

コース名

(1)

防災基礎

内容

必修

風水害/地域の脆

弱性と被害の実態

/災害法体系・防

災計画・災害への

備え/災害から命

を守る/被災者の

応急救助/災害か

ら暮らしを守る/

災害時の応援・受

援体制/災害から 回復する/多様な

視点からの災害対

選択

地震・津波災害の

ハザード/火山災

害のハザード/大

規模地震対策①首

都直下地震の対策

/大規模地震対策

②南海トラフ地震

の対策/大規模地

溝・千島海溝周辺

海溝型地震の対策

/大規模地震対策

④東日本大震災の

主な対象者

防災部門のみなら

ず、災害対応に関

わることになる職

員など、災害対応

の基礎を学びたい

方を対象とします

教訓

震対策③日本海

般管理向け

内容 主な対象者 コース名 「災害への備え」としての地域の防 防災計画等の立案や住民啓発、 **(2**) 災計画/防災教育・災害教訓の伝承 防災教育、企業防災、災害ボラ /企業防災/行政のBCP,BCM/住 ンティアを担当する職員など、 災害への 民啓発/地域の自主的な防災活動/ 平常時の防災対策を実施するた 備え 災害ボランティア めの知識や手法を学びたい方を 対象とします。 警報等の種類と内容/避難情報の発 住民の避難誘導を担当する職員 (3) など、情報の収集・分析、避難 令判断・伝達等/土砂災害・風水害 における警報と避難/南海トラフ地 情報等の発令、避難誘導対策を 警報避難 震臨時情報/個別避難行動の支援と 学びたい方を対象とします。 計画/決心ポイント 初動対応における国との連携/地方 応急活動や応援・受援を担当する **(4)** 公共団体間の相互応援と受援体制/ 職員など、物資・活動拠点や外 応急活動・ 災害廃棄物処理/救援物資の調達/ 部からの応援といった災害時の 資源(人・物・環境)の管理と 救援物資の輸配送/活動拠点・環境 資源管理 の確保/救援物資ロジスティクス演 調整について学びたい方を対象 扙 とします。 策 災害救助法と被災者生活再建支援法 医療・福祉・保健部門で避難所 / 避難所のライフサイクル/避難所 運営や被災者対応を担当する職 **(5)** 運営の実際/医療による被災者支援 員など、被災者支援を実施する 被災者支援 /多様な主体による被災者支援/被 ために必要となる知識や手法を 災者支援の個別課題/生活再建支援 学びたい方を対象とします。 業務/個別避難計画の作成 公共基盤の復旧/仮設住宅/コミュ 土木部門でインフラ整備を担当 ニティ再生/市街地の復興まちづく する職員、都市計画部門で復興 **(6)** り/住まいの再建/地域産業の復興 を担当する職員、政策企画部門 と雇用確保 で生活・社会・産業など総合的 復旧・復興 な計画策定等を担当する職員等 復旧・復興政策を学びたい方を 対象とします。 指揮統制の世界標準/指揮統制の現 |災害対応における組織の運営や **(7)** 状/日本社会に適した指揮統制のあ 参謀としての役割につく防災担 り方/リーダーシップのあり方/参 当の幹部の方などを対象としま 指揮統制 謀にとっての災害対策本部運営/災 害広報 指揮統制の世界標準/災害対策本部 災害対策本部で発災時に被災状 況等を情報収集・分析し、適切 が行う対策立案プロセス/地図によ (8) る状況認識の統一とISUTの試み/ な対策を迅速に立案する防災担 対策立案 応急期の政府支援/効果的な災害対 当の方などを対象とします。 応計画・マニュアルの立案/災害対 策本部運営演習 訓練・研修の実際/訓練・研修企画 防災担当の幹部職員など、職員 手法/状況付与型図上演習/地域防 や組織の災害対応能力向上を図 (9) 災リーダーの育成/討議型図上演習 営 るための人材育成プログラムの 人材育成 /人材育成プログラム作成演習 策定、訓練・研修の効果的な企 画・運営の知識や手法を学びた い方を対象とします。 総合防災政策/総合的な被害抑止施 防災に関する政策立案や、平常 策の実施/リスク評価に基づく災害 時から災害対応に必要な組織の **(10)** 対応の検証/応急対策の実態/大規 構築を担う防災担当幹部職員な 総合監理 模災害の検証と対応/災害対策本部 ど、総合的な防災政策を実施す るための知識や手法を学びたい 方を対象とします。

内閣府(防災)

Science Craft 株式会社サイエンスクラフト

ホームページ: https://bousai-ariake.jp/

令和5年8月12日版

研修カリキュラム (令和5年度 第1期)

「災害への備

え」総論

教訓の伝承

4 企業防災

5 行政のBCP、

BCM

6 住民啓発

9 え」ワーク

ショップ

3 指揮統制の現状

8 全体討論

講義・ワーク オンデマンド(講義動画を聴講/個人で作業)

対 面 演 習 有明の丘基幹的広域防災拠点施設にて集合演習

※ 複数のコースへの応募が可能です。

※ 研修カリキュラムは変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 講義・ワークは各コースともに合計時間は約8時間です。演習は1~3単元を予定しています。

①「防災基礎」

コースコーディネーター ◇ 牛山 素行(静岡大学) ◇

防災・危機管理の基本的な考え方や、我が国 の自然特性、近年の災害事例について学ぶ。

風水害発生のメカニズムと、風水害災害によ る被害の概要について学ぶ。

自然災害による人的被害の実態を理解し、地 域ごとの災害特性やハザードマップの読み方、

3 地域の脆弱性と被害の実態

風水害、地震のハード対策を学ぶ。 4 災害法体系・防災計画・災害への備え 防災活動全体の流れや災害関連法の体系、防 災関連計画、政府の初動体制、防災人材育成、

地区防災計画、個別避難計画等の概要を学ぶ。

5 災害から命を守る

「災害から命を守る」ための基本的な知識と して、防災気象情報の概要や、避難情報の意 味や内容を学ぶ。

6 被災者の応急救助

災害救助法の概要を理解し、被災者のいのち を守るために行う活動の概要や事前に備えて おくべきことを学ぶ。

7 災害から暮らしを守る

避難所の開設・運営、災害廃棄物処理、被害 認定調査、災害ケースマネジメント等、行政 が行う手続きの基本を学ぶ。

8 災害時の応援・受援体制

災害時に行う応援受援に係る制度、受援体制 の構築および受援計画の作成、応急対策職員 派遣制度等の概要について学ぶ。

9 災害から回復する 被災者生活再建支援制度、災害弔慰金・災害

復旧・復興、インフラ復旧の基本を学ぶ。 10 多様な視点からの災害対応 地域の多様な主体が避難所運営に係ることの

援護資金、激甚災害制度、大規模災害からの

意義や、災害時における男女共同参画の必要 性等について学ぶ。 選択

11 地震・津波災害のハザード

地震・津波発生のメカニズムと、その災害の 被害、地震・津波の観測・予測情報、防災対 策の基本を学ぶ。

12 火山災害の八ザード

主な火山の噴火現象、火山噴火の観測・予測 情報、火山災害の被害や対策の基本を学ぶ。 13 大規模地震対策① 首都直下地震の対策

首都直下地震を対象に、その被害想定等や 「緊急対策推進基本計画」及び「具体計画」

の概要について学ぶ 14 大規模地震対策② 南海トラフ地震の対策 南海トラフ地震を対象に、その被害想定等や、

「緊急対策推進基本計画」及び「具体計画」

大規模地震対策③ 日本海溝・千島海溝周 15 辺海溝型地震の対策

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を対象に、 その被害想定等や、「防災対策推進基本計 画」及び「具体計画」の概要について学ぶ。

16 大規模地震対策 (4) 東日本大震災の教訓 東日本大震災の復興過程で明らかとなった主 たる課題や困難、そこから得られた教訓につ

いて学ぶ。

② | 災害への備え |

コースコーディネーター ◇ 丸谷 浩明(東北大学) ◇

への備えの基本的な考え方や 対策を学ぶ。 地域防災計画、地区防災計画 地域防災計画· を、どのように災害の備えに 地区防災計画 向けて活用するのかを学ぶ。

自助・共助・公助による災害

防災教育・災害 地域に根差した防災活動を進 めるための防災教育および災 害教訓の伝承について学ぶ。

企業が災害時に果たすべき役

割を認識し、企業と行政が連 携した防災活動について学ぶ。 行政におけるBCP、BCMの意 味と策定のポイントについて

住民向けの防災の啓発の基本 的な事項および具体例につい て学ぶ。 住民の自主防災組織の意義 地域の自主的

役割と行政による推進策につ な防災活動 いて学ぶ。 災害ボランティアの意義・役 8 災害ボラン 割と行政との連携について学 ティア

> 【実務担当】災害への備えの 推進方策を災害対応組織の班 員レベルで議論し、自らの組 織での具体的な行動への反映 「災害への備 を考える。

【一般管理】災害への備えの 推進方策を災害対応組織の班 長などのレベルで議論し、対 応組織の管理業務への反映を 考える。

3 | 警報避難」 コースコーディネーター

◇ 井ノ口 宗成(富山大学) ◇ 警報避難対策の基本的な考え 1 警報避難総論 方と事前対策を学ぶ。

警報等の種類 警報等の種類と内容、伝達に と内容 ついて学ぶ。

避難情報の発 避難情報の判断と伝達方法に 3 令判断・伝達 ついて学ぶ。

土砂災害にお 土砂災害における警報と避難

4 ける警報と避の実務について学ぶ。 風水害におけ 風水害における警報と避難の る警報と避難 実務について学ぶ。

南海トラフ地 地震災害の警報と避難につい 震臨時情報 て学ぶ。 円滑かつ迅速な避難を実現す

の支援と計画 と避難行動支援の考え方を学 【実務担当】 風水害を対象として避難判断 風水害からの を支える警報情報や各種情報 警報避難におの処理の流れを演習形式で学

ける情報処理

個別避難行動 るための個別避難計画の役割

【一般管理】 風水害を対象として警報情報 風水害からのの活用と避難にかかる意思決 警報避難にお定の流れを演習形式で学ぶ。 ける意思決定

効果的な災害対応

4 「応急活動・資源管理」

コースコーディネーター 松永 正大(元 全国物流ネットワーク協会) ◇

応急活動の流れと資源管理に 1 応急活動 関する基本的な考え方につい

資源管理総論 初動対応にお 国における初動対応の内容と 2 ける国との連 その連携のあり方について学 ぶ。 地方公共団体 災害時の行政機関の間で行わ

3 間の相互応援 れる応援受援の仕組みと受援 と受援体制 体制について学ぶ。 被災地における資源確保の例 として、災害廃棄物の撤去・ 災害廃棄物処 処理の進め方と留意点を事例

に基づき学ぶ。 救援物資の調達に関する実務 救援物資の調 と課題、また、救援物資の輸 5 達/救援物資 配送に関する実務と課題を学 の輸配送

応急活動を行うために必要と 活動拠点・ なる活動拠点や通信サービス 環境の確保 等の確保について学ぶ。 救援物資ロジ 救援物資の調達から輸送・保 スティクス演 管・配布における留意点など

災害対策本部における資源 8 仮)資源管理演 (人的、物的、空間、サービ ス)の確保、管理における留 意点などを演習形式で学ぶ。

を学ぶ。

習(ワーク)

防災力アップのため、災害時 の物資物流と広域的な応援体 10 仮)質疑応答 制について学んだことを、受 意見交換 講者が担当する業務にどのよ うに反映させるのかを考える。

5 | 被災者支援」 コースコーディネーター

◇ 田村 圭子(新潟大学) ◇

の全体像を学ぶ。 災害救助法と 被災者支援における災害救助法 と生活再建支援法の位置づけや、 被災者生活再 建支援法 手続き、適用事例を学ぶ。

被災者支援総被災者支援の実態と被災者支援

避難所のライ 3 フ 避難所のライフサイクルを学ぶ。 サイクル 避難所運営の 事例を基に避難所運営の実際を

実際 学ぶ。 要配慮者をは じめとする避 災害時要配慮者を始めとする避 難者の避難生 難生活への支援対策を学ぶ。 活支援

医療による サイクルなど医療による被災者 被災者支援 支援を学ぶ。 多様な主体に よる被災者支 専門職能における被災者支援と 援/被災者支援 被災者支援の個別課題を学ぶ。

医療チームの活動と医療支援の

家屋の被害認定から罹災証明の 8 生活再建支援 業務 発行と罹災証明を基にした一連 の生活再建支援業務を学ぶ。 令和3年3月の災害対策基本法に 個別避難計画 おいて、市町村に作成が努力義

9 の 務化された個別避難計画作成の 作成 ステップとその機能を学ぶ。 【実務担当】 避難所のライフサイクルを演習 災害時のトイ 形式で体験し、避難所運営業務 レ問題/全体

の管理運営を学ぶ。

の実務を学ぶ。 【一般管理】 避難所のライフサイクルを演習 避難所の運営 形式で体験し、避難所運営業務 業務/全体討

6 | 復旧・復興] コースコーディネーター

◇ 加藤 孝明(東京大学)) ◇ 災害からの復旧・復興の概念、

1 復旧·復興総論 生活、産業、社会、市街地の復

被災した公共基盤の復旧・再建 公共基盤の復 の理念とその支援制度、対応業 2 旧 (基盤復興 I)

務の進め方について、事例を踏 まえて学ぶ。 災害救助法による応急仮設住宅 の提供の取組みを、事例に基づ

仮設住宅 (生活復興 I) き学ぶ。

4 再生

(社会復興)

地域社会の再生(つながり・コ ミュニティの継続と活性化) に ついて事例を通して学ぶ。

行政・被災者等の取り組みから

興プロセスとその全体像につい

土地区画整理事業など市街地の 市街地の復興 基盤を再整備する復興まちづく 5 まちづくり りの意義と課題を事例に基づい (基盤復興Ⅱ) て学ぶ。 被災者個人の生活再生とその基 住まいの再建 盤となる被災者の住まいの再建

について体系的に学ぶ。 地域産業の復 地域社会の活力と被災者の雇用 7 興と雇用確保 確保のための産業復興について (産業復興)

(生活復興Ⅱ)

事例に基づいて学ぶ。 自らの自治体の地域防災計画の 仮)復旧・復興 復旧・復興編を検証し、復興対 演習 (復旧・ 策の体系や体制を演習形式で学

のをふりかえる。

水害や土砂災害、地震などの被害

を抑止するための総合的な対策に

応急活動の実態について学ぶ。

大規模災害がどのように検証され

復興対策の事 び、事前復興の取り組みの事例 前準備)

仮)全体討論/

質疑応答

9

を通じて、自治体で事前復興に 取り組む可能性と課題を考える 復旧・復興の基礎知識の学びを 活用するために、研修で得たも

コースコーディネーター > 林 春男(京都大学) 🔷

⑦「指揮統制」

災害対策本部組織を統制していく 1 指揮統制総論 ための理論と基本構造を学ぶ。

世界標準における危機対応組織の 指揮統制の世界標 仕組みを学び、リーダーに求めら れる4つの役割について学ぶ。

揮統制の本質を語る。 日本社会に適した 危機対応の世界標準に則して災害

大規模災害を経験したトップが指

制を行うための要求事項を学ぶ。

れぞれの組織でどのように反映さ

指揮統制のあり方対策本部の統制のあり方を学ぶ。 リーダーシップの リーダーシップの考え方と指揮統

5 あり方 危機対応組織の参謀がどのように 参謀にとっての災 トップを補佐しながら災害対策本 害対策本部運営 部を運営していくのかについて学

災害広報の事例を踏まえ、地方公 災害広報 共団体の長や幹部は、メディアを (記者会見演習) 通して被災者等にどう向き合い、 どう語るのかを演習を通して学ぶ。 防災力アップのため、指揮統制に ついて学んだことを、受講者のそ

せるのかを考える。

コースコーディネーター ·林 春男(京都大学) ◇

災害対応における対策立案の考え 1 対策立案総論 方と情報統括、活動サイクル、体 1 人材育成総論 制を学ぶ。 世界標準における危機対応組織の

⑧ 「対策立案」

2 指揮統制の世界標 仕組みを学び、リーダーに求めら れる4つの役割を学ぶ。 「当面の対応計画(インシデント・ 災害対策本部が行 アクション・プラン)」の果たすべ 3 う対策立案プロセ き役割と基本的な構造、立案のプ

ロセスについて学ぶ。 地図による状況認 GISによる統合された情報提供の **4** 識の統一とISUT 必要性とISUTの有効性について学 の試み ぶ。

発災直後に各省庁から提供される 5 応急期の政府支援 具体的な支援の内容について学ぶ。

災害対応計画の果たすべき役割と

ら、災害対策本部会議において対

策を決定する手法を演習を通して

基本的な構造、災害対応マニュア 6 計画マニュアルの ルの作成について、災害対応の事 作成方法 例を基に学ぶ。 災害発生後の限られた情報の中で 状況を推測し、対応方針を検討し

学ぶ。 災害対応マネジメントにおける計 画立案について学んだことを、災 8 全体討論 害対策本部運営にどのように反映

させるのかを考える。

災害対策本部運営 計画を立案し、活動を調整しなが

コースコーディネーター ◇ 黒田 洋司(消防防災科学センター) ◇

2 訓練・研修の実際

人材育成の必要性や戦略・法律・計 画を学ぶ。

国や地方公共団体等が実際に実施

している訓練や研修の実例を学ぶ

訓練手法のうち討議型図上演習の

9「人材育成」

討論

6

の個別課題

3 訓練・研修企画手 防災訓練・研修を企画する際のポ イントを学ぶ。

訓練手法のうち状況付与型図上演 4 訓練企画運営実践 I 習の一つである、災害対策本部運 営訓練を経験すると共に、様々な (状況付与型図 上演習) シナリオを用いた状況付与型図上

地域における防災リーダーの育成 地域防災リーダー 5 の意義と研修の企画、実施手法を の育成

演習の考え方を学ぶ。

一つである災害エスノグラフィー 訓練企画運営実践 II 6 演習を体験すると共に、様々な素 (討議型図上演習) 材を用いた討議型図上演習の考え 方を学ぶ。

人材育成プログラ 人材育成プログラムの作成手法や ム作成演習 留意点について学ぶ。

8 人材育成に関する 受講生同士が講師陣と共に情報交 換しながら交流を図る。

コースコーディネーター 〉岩田 孝仁(静岡大学) 🔇

⑩「総合監理」

ついて学ぶ。

総合的に防災政策を推進していく ことの基本的な考え方を予防対策 1 総合防災政策 から応急対策への流れに沿って学

総合的な被害抑止 施策の実施

リスク評価に基づ 防災アクションプランのサイクル く災害対応の検証 について学ぶ。

災害対策本部における重要業務と 4 応急対策の実態

大規模災害の検証 どのような対応方針が示されてい

と対応 るのかを学び、今後の災害への反 映を考える。

災害対策本部体制を構築するため に必要な体制、空間レイアウトな 6 災害対策本部体制 ど事前に準備すべきことを学び、 災害対策本部運営の流れと心構え を学ぶ。

総合防災政策立案について学んだ

ことを、受講者がそれぞれの組織 7 全体討論 でどのように反映させるのかを考 える。